

2 生涯学習機会の整備充実

(1) 関係機関等との連携

生涯学習に関する県の事業は、320事業（平成4年度）に及んでいます。

また、生涯学習に関する事業を実施している機関・団体は、公共職業能力開発施設、保健所、消費生活センターなどのほか、財団法人福島県長寿社会推進機構や商工関係団体、メセナ活動^{*}を行う企業など広く民間にも及んでいることから、これらの機関・団体との連携を深め、学習機会の充実を図ることが求められています。

したがって、今後は、これら関係機関・団体に対して事業の後援を行うなど、積極的な連携を図るとともに、それぞれが事業の企画能力を高めることができるよう指導、援助する必要があります。

(2) 学校の教育機能の活用

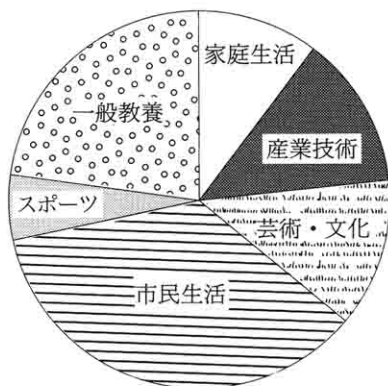


高等学校開放講座におけるワープロ教室

学校は、生涯学習の基礎を培う教育機関であるとともに、地域の人々に様々な学習の機会や場を提供する役割を担っています。このため、児童生徒に対しては、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成に努めるとともに、地域の人々に対しては、社会教育との連携による生涯学習の機会と場を拡充することが求められています。特に学校は、地域における教育・文化の中心的役割を担っており、その機能の開放が期待されています。現在、学校の校庭や体育館など体育施設の開放は、広く行われつつありますが、さらに、大学開放講座や高等学校開放講座等による学習機会の拡充が求められています。

図2-1 大学・高校開放講座における学習内容

(平成3年度)



学習内容	講座数	(%)
家庭生活	4	10.3
産業技術	5	12.8
芸術・文化	5	12.8
市民生活	14	35.9
スポーツ	2	5.1
一般教養	9	23.1
合計値	39	100.0

(注) 平成3年度 大学・高校開放講座実績
大学：10校，高校：6校

(資料) 生涯学習課調査

* メセナ活動：フランス語で、文化・芸術活動への擁護と援助を意味する。最近、日本でもメセナ活動の気運が高まり、1990年には、企業メセナ協議会が発足している。